

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	日本語における「片仮名イタリア語」の諸相
Author(s)	古浦, 敏生
Citation	ニダバ , 33 : 1 - 10
Issue Date	2004-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045539
Right	
Relation	



日本語における「片仮名イタリア語」の諸相

古 浦 敏 生

§1 はじめに

借用語(loan word)とは「外国から入ってきて、自国語に採りいれられた単語」(田中春美編『現代言語学辞典』1988 成美堂 p.374)のことである。しかし、「どの言語においても同様であるが、外来語のレッテルを的確に貼る仕事は簡単ではない」(関本至『現代ギリシアの言語と文学』1987 溪水社、p.72)。もちろん借用語の借用経路の問題もあるが、「採りいれられた」という状態にもさまざまなレベルがあり、事は単純ではない。既に『借用語辞典』・『カタカナ語辞典』に見出し語として掲載され市民権を得ているものもあれば、辞書類には収録されていないが片仮名書きされ、簡単な説明が付いているものもある。この後者の語彙群は、借用語として定着する前の、いわば「借用語予備軍」とであると想定できる。しかし、これまであまり注目されなかったように思われる。

日本語におけるイタリア語からの借用語に関する先行研究は未だ乏しい。筆者は先年、日本で出版された『外来語辞典』・『カタカナ語辞典』4 種を資料として、そこに現われるイタリア語からの借用語 477 種を音韻論・形態論・統語論・意味論の立場から多角的に分析し、『日本語におけるイタリア語からの借用語』(『広島大学文学部紀要』第 57 巻、特輯号 3、1997、89p.) としてまとめた。

本稿は、2000 年以降に刊行されたグラビア誌 22 冊を資料とし、現代日本語に現われる「借用語予備軍」としての「片仮名書きされたイタリア語(以下「片仮名イタリア語」と略称)」の資料収集・分析を目的としている。そして将来的には、この種の調査結果を踏まえて、今後出版される『外来語辞典』・『カタカナ語辞典』にどのような片仮名イタリア語が見出し語として掲載されているのかを見極め、借用語予備軍から借用語へと移行する際のさまざまなプロセスの解明を視野に入れている。

§2 用例

まず、資料とその略号を列記しておこう。

『世界遺産』No.1「ローマの歴史地区 1」講談社、2000(略号『遺産 1』)

『世界遺産』No.2「ヴェネツィアとその潟」講談社、2000(略号『遺産 2』)

『世界遺産』No.5「ヴァチカン市国、ローマの歴史地区2」講談社,2000(略号『遺産5』)

『世界遺産』No.7「フィレンツェの歴史地区」講談社,2000(略号『遺産7』)

『世界遺産』No.8「ローマの歴史地区3」講談社,2000(略号『遺産8』)

『世界遺産』No.14「シエナの歴史地区」講談社,2001(略号『遺産14』)

『世界遺産』No.18「ポンペイ」講談社,2001(略号『遺産18』)

『世界遺産』No.21「ナポリの歴史地区」講談社,2001(略号『遺産21』)

『世界遺産』No.33「ラヴェンナの初期キリスト教建造物群」講談社,2001(略号『遺産33』)

『世界遺産』No.45「ミラノのドミニコ会修道院と『最後の晩餐』」講談社,2001(略号『遺産45』)

『世界100都市』No.001「ヴェネツィア」朝日新聞社,2001(略号『都市1』)

『世界100都市』No.004「ローマ」朝日新聞社,2001(略号『都市4』)

『世界100都市』No.027「フィレンツェ」朝日新聞社,2002(略号『都市27』)

『世界100都市』No.029「ミラノ」朝日新聞社,2002(略号『都市29』)

『世界100都市』No.031「ナポリ」朝日新聞社,2002(略号『都市31』)

『世界100都市』No.033「ラヴェンナとボローニャ」朝日新聞社,2002(略号『都市33』)

『世界100都市』No.035「ヴェローナ」朝日新聞社,2002(略号『都市35』)

『世界100都市』No.036「シエナ」朝日新聞社,2002(略号『都市36』)

『世界100都市』No.037「ヴァチカン」朝日新聞社,2002(略号『都市37』)

『世界100都市』No.038「アッシジとペルージャ」朝日新聞社,2002(略号『都市38』)

『世界100都市』No.039「アルベロベッロとレッツェ」朝日新聞社,2002(略号『都市39』)

『世界100都市』No.040「シチリア」朝日新聞社,2002(略号『都市40』)

次に、用例の収集方法であるが、上掲資料から片仮名イタリア語を網羅的に抽出することとした。その際、普通名詞を基本とし、フォロ・ロマーノ「古代ローマ時代の中心広場」、カナル・グランデ「ヴェネツィアの大運河」のような固有名詞は不採用とした。但し、フォロ「中心広場」が単独で普通名詞として現われる場合は採用した。また、形容詞や動詞が固有名詞を構成していない場合も採用した。

筆者は、片仮名イタリア語のタイプを以下の4種に分類することとした。

- A型…片仮名イタリア語の後ろに日本語訳が付くもの。 「フォロ (広場)」
- B型…日本語の後ろに片仮名イタリア語が付くもの。 「広場 (フォロ)」
- C型…日本語に片仮名イタリア語がルビとして付くもの。 「^{フォロ}広場」
- D型…片仮名イタリア語の後ろに日本語の解説が付くもの。 「フォロと呼ばれる広場」

「フォロは広場という意味で…」 「フォロという広場」 など

以下、片仮名イタリア語を五十音順に並べて見出し語とし、次いで原語であるイタリア語の綴字とその意味を提示した。そして【】内に、A型からD型までの分類記号と資料の略号・出現ページ数を示した。なお、網掛けのほどこしてある見出し語は、三省堂編集所編『コンサイス・カタカナ語辞典』1994に見出し語として既に収録されている語彙である。

アクア・アルタ acqua alta 「高潮」【D『遺産 2-26』; D『都市 1-6』】
 アクイラ aquila 「鷲」【B『遺産 33-24』】
 アグリトゥリズム agriturismo 「民宿」【D『都市 36-18』; A『都市 39-11』】
 アジョルナメント aggiornamento 「現代化」【A『都市 37-20』】
 アッボカート abboccato 「(ワインが) 薄甘口の」【D『都市 38-21』】
 アニマ・セネーゼ anima senese 「シエナ魂」【A『都市 36-6』】
 アマービレ amabile 「(ワインが) 中甘口の」【D『都市 38-21』】
 アラゴスタ aragosta 「イセエビ」【A『都市 40-29』】
 アレーナ arena 「円形闘技場」【B『都市 35-6』; D『都市 35-6』】
 アンジェリコ angelico 「天使のような」【D『都市 27-31』】
 アンティパスティ・ミスティ antipasti misti 「前菜の盛合わせ」【A『都市 31-29』】
 アンティパスト antipasto 「前菜」【B『都市 1-28』; B『都市 37-19』】
 アンフィテアトロ anfiteatro 「古代ローマ円形闘技場」【B『都市 36-23』】
 アンフォラ anfora 「壺」【D『都市 4-27』】
 ヴァポレット vaporetto 「水上バス」【A『遺産 2-20』; A『都市 1-14』】
 ヴィラ villa 「別荘」【A『都市 35-10』; A『都市 35-28』】
 ヴェッキオ vecchio 「古い, 旧」【A『遺産 7-10』; A『都市 27-26』】
 ウオヴァ・トンノ uova tonno 「マグロの卵」【D『都市 40-28』】
 ウフィツィ uffizi 「事務所, オフィス」【D『都市 27-15』】
 エトルスキ etruschi 「エトルスク人」【A『都市 38-4』】
 エピファニア Epifania 「御公現祭」【A『都市 37-13』】
 エルベ erbe 「野菜」【A『都市 35-8』】
 ガイア gaia 「喜びの」【B『遺産 14-10』; A『都市 36-8』; A『都市 36-26』】
 ガイア・ブリガータ gaia brigata 「陽気な部隊」【A『遺産 7-29』】
 カステッロ castello 「城」【B『都市 37-30』; A『都市 39-14』; B『都市 39-30』; A『都市 39-31』】
 カステル・ヴェッキオ castel vecchio 「古城」【A『都市 35-7』】
 カタコンベ catacombe 「地下墓所」【A『遺産 21-8』; A『遺産 21-18』】
 カッペッロ cappello 「帽子」【A『都市 35-27』】
 カッレ calle 「小路」【D『都市 1-12』】
 ガッロ・ネッロ gallo nero 「黒い雄鶏」【B『都市 36-15』】
 カーポマエストロ capomaestro 「職人頭」【B『都市 27-14』】
 カメリエーレ cameriere 「ボーイ」【A『都市 1-28』】
 カルタペスタ cartapesta 「紙細工」【A『都市 39-29』】
 カルチェリ carceri 「牢獄」【B『都市 36-30』】

カルチョ calcio 「サッカー」【D『遺産 33-24』; A『都市 4-30』; A『都市 36-11』】
 カルチョ・ストリコ calcio storico 「古式サッカー」【A『遺産 7-22』】
 カルチョーフィ carciofi 「アーティチョーク」【A『都市 39-2』】
 カンツォーネ・ナポリターナ canzone napoletana 「ナポリ歌謡祭での入賞曲」【D『遺産 21-34』】
 カンパニーレ campanile 「鐘楼」【A『都市 1-12』】
 カンピエッロ campiello 「小広場」【D『都市 1-18』】
 カンポ campo 「広場」【A『都市 1-12』】
 カンボサント camposanto 「墓地」【B『遺産 14-12』; B『遺産 14-15』; B『遺産 14-25』; A『都市 36-28』】
 キオストロ chiostro 「修道院の回廊付き中庭」【A『都市 31-14』】
 ギルランディーナ ghirlandina 「小さな花冠」【A『遺産 33-24』】
 クーポラ cupola 「円屋根」【A『遺産 5-6』; A『都市 4-9』; A『都市 37-2』; A『都市 40-27』】
 グラッパ grappa 「ワインの絞り粕を蒸留して作るブランデー」【D『都市 35-21』】
 グラニータ granita 「シャーベット」【D『都市 40-29』】
 グーリア guglia 「宗教的な祭礼に登場する仮設の祝祭装置を大理石で置き換えたもの」【D『都市 31-12』】
 グロッタ grotta 「洞窟」【C『都市 4-9』; A『都市 39-14』】
 ゲットー ghetto 「ユダヤ人居住区」【B『都市 4-11』; D『都市 1-30』】
 コマチーニ comacini 「コモ地方の棟梁たち」【A『都市 38-6』】
 コムーネ comune 「自治都市」【A『都市 4-7』; B『都市 33-4』】
 コメディア・デラルテ→コンメディア・デッラルテの項参照
 コルテ corte 「中庭」【A『都市 1-15』】
 コルティーレ cortile 「中庭」【C『都市 29-18』】
 コルネット cornetto 「クロワッサン（三日月型のパン）」【A『都市 40-19』】
 コレジャータ collegiata 「参事会」【A『都市 36-31』】
 コンカ・ドーロ conca d'oro 「黄金の盆地」【A『都市 40-30』】
 コンクラーベ conclave 「教皇選挙」【A『都市 37-22』】
 コンソリ consoli 「執政官」【A『都市 38-14』】
 コンチリアツィオーネ conciliazione 「友好, 和解」【D『都市 37-26』】
 コントラーダ contrada 「中世都市の地区」【C『遺産 14-34』; D『都市 36-9』】
 コンメディア・デッラルテ commedia dell'arte 「仮面即興劇」【A『都市 31-15』】
 サッソ sasso 「岩場の居住地」【D『都市 39-22』】
 サーラ・ロトンダ sala rotonda 「円い部屋」【B『都市 35-11』】
 サルーテ salute 「健康」【C『遺産 2-20』】

ジェラート gelato 「アイスクリーム, シャーベット」【D『都市 31-29』】
 ジガンテ gigante 「巨人」【A『遺産 18-24』】
 シニョリーア signoria 「政庁舎」【C『遺産 7-10』】
 ジャルディニエラ giardiniera 「女性の庭師」【A『都市 29-23』】
 ジュビレオ giubileo 「大聖年」【A『都市 4-21』】
 ジオルナータ giornata 「一日の仕事量」【D『遺産 14-25』】
 シロッコ scirocco 「南風」【D『遺産 2-26』; A『都市 1-30』】
 スコッピオ・デル・カッロ scoppio del carro 「山車の爆発」【D『遺産 7-34』】
 スパッカ spacca 「真っ二つに割る」【D『遺産 21-29』; A『都市 31-5』】
 スフォリアテッラ sfogliatella 「リコッタ・チーズのパイ」【A『都市 31-29』】
 スプレムータ spremuta 「生ジュース」【D『都市 40-29』】
 セコラーリ secolari 「樹齢数百年を経たオリーブの樹」【D『都市 39-11』】
セッコ secco 「(ワインが) 辛口の」【D『都市 38-21』】
 セディーレ sedile 「旧政庁舎」【B『都市 39-5』; B『都市 39-26』】
 セミフレッド semifreddo 「半ば凍った」【D『都市 33-31』】
タベルナ taverna 「大衆食堂」【D『都市 35-15』】
 タント tanto 「たくさん (の)」【A『都市 31-28』】
 チェントロ・ストリコ centro storico 「歴史地区」【A『都市 35-22』】
 チステルナ cisterna 「貯水槽, 井戸」【B『遺産 14-21』; A『都市 36-30』】
 チッタ città 「都市」【A『都市 39-19』】
チンクエチェント cinquecento 「排気量 500cc の大衆車」【D『都市 29-23』】
テアトロ・アナトミコ teatro anatomico 「解剖学教室」【B『都市 35-23』】
テアトロ・オリンピコ teatro olimpico 「オリンピック劇場」【A『都市 35-11』】
 テアトロ・ロマーノ teatro romano 「ローマ劇場」【A『都市 35-9』】
 テッラフェルマ terraferma 「本土」【D『都市 35-20』】
 テルメ terme 「公共浴場」【B『遺産 8-6』】
 テンピエット tempietto 「聖堂内にある小堂」【A『遺産 5-26』】
ドゥオ(一)モ duomo 「大聖堂」【B『遺産 7-4』; C『遺産 7-6』; B『遺産 14-2』; B『遺産 21-7』; C『遺産 33-5』; B『遺産 45-12』; B『都市 27-8』; A『都市 29-8』; B『都市 33-20』; B『都市 36-4』; B『都市 36-5』; B『都市 36-7』; D『都市 38-10』; A『都市 38-13』; A『都市 39-6』; B『都市 40-7』】
 トゥーフォ tufo 「凝灰岩」【A『都市 39-26』】
 トゥリズモ turismo 「観光, 旅行」【A『都市 40-19』】
 トゥルッリ trulli 「尖がり屋根の民家」【D『遺産 21-24』; B『都市 39-2』; D『都市 39-32』】
 ドージェ doge 「総督」【B『遺産 2-12』; A『都市 1-9』】

トラゲット *traghetto* 「渡し船」【B『都市 1-15』】
 トラッツォ *torrazzo* 「大きな鐘楼」【D『都市 29-15』】
トラットリア *trattoria* 「食堂」【A『都市 1-28』; A『都市 4-15』; B『都市 33-19』】
 トリッパ *trippa* 「牛の胃袋の煮込み」【A『都市 4-15』】
 トリブーナ *tribuna* 「八角形の部屋」【D『遺産 7-12』】
ドルチェ *dolce* 「デザート」【A『都市 40-29』】
 ナターレ *Natale* 「クリスマス」【A『都市 37-13』; D『都市 37-13』】
 スオヴォ *nuovo* 「新しい」【A『都市 33-27』】
 ノーヴェ *nove* 「九人」【A『都市 36-7』; A『都市 36-26』】
 パエーゼ *paese* 「小さな街」【A『都市 39-19』】
 バジリカ *basilica* 「聖堂」【A『都市 4-9』; A『都市 38-29』】
パスタ・フレスカ *pasta fresca* 「生のパスタ」【B『都市 37-28』】
 パセジャータ *passeggiata* 「散歩」【A『都市 31-17』】
 パーチェ *pace* 「平和」【A『都市 37-14』】
 パトロノー *patrono* 「守護聖人」【A『都市 37-15』】
 パップガッロ *pappagallo* 「路上で女性を冷やかしたり、ひっかけようとする男」【A『都市 33-13』】
 パラッツェット *palazzetto* 「小規模な邸館建築」【D『都市 35-14』】
バラッツォ *palazzo* 「邸館建築」【A『遺産 2-4』; A『遺産 2-20』; A『都市 31-12』; A『都市 35-10』】
 パラ・ドーロ *pala d'oro* 「黄金の衝立」【A『都市 1-26』】
 パリオ *palio* 「競馬, 聖母像を描いた優勝旗」【B『都市 33-21』; D『都市 36-9』】
 バルカッチャ *barcaccia* 「小舟」【A『都市 4-28』】
 バルジェッロ *bargello* 「検察長官」【B『都市 27-31』】
 パンドーロ *pandoro* 「ヴェローナのクリスマス用パンケーキ」【D『都市 35-31』】
 ピアツェッタ *piazzetta* 「小広場」【A『都市 1-12』】
ピアッツァ *piazza* 「広場」【A『都市 1-12』】
 ピアノ・ノービレ *piano nobile* 「貴族の邸館の二階」【D『都市 35-14』】
 ピエトラ・セレナ *pietra serena* 「灰色の石材」【D『遺産 7-14』】
 ピエトラ・レッツェーゼ *pietra leccese* 「レッツェ特産の石」【D『都市 39-5』】
 ビーゴリ *bigoli* 「ヴェネト地方のパスタ」【D『都市 1-28』】
ピッツェリア *pizzeria* 「ピッツァ専門店」【A『遺産 21-32』; A『都市 31-29』】
 ピナコロ *pinnacolo* 「小尖塔」【A『都市 39-29』】
 ピーニャ *pigna* 「松かさ」【C『遺産 5-16』】
 ビラ→ヴィラの項参照

フィアスコ fiasco 「藁苞を纏ったボトル」【D『都市 36-14』】

フィエラ fiera 「見本市」【A『都市 35-22』】

フォロ foro 「中心広場」【B『遺産 18-2』; B『遺産 18-7』; A『遺産 1-4』; A『都市 39-6』】

フォンタナ・マッジョーレ fontana maggiore 「大噴水」【B『都市 38-26』】

ブオン・ナターレ Buon Natale! 「クリスマスおめでとう」【A『都市 37-15』】

ブカティニー bucatini 「太めのマカロニ状パスタ」【A『都市 4-10』; A『都市 40-28』】

ブッケロ bucchero 「エトルリアの黒色素焼き壺」【B『都市 38-23』】

プット putto 「幼児」【A『遺産 5-10』】

フニコラーレ funicolare 「ケーブルカー」【A『都市 31-26』】

プリオーレ priore 「最高執政官」【A『都市 27-14』】

ブリッコラ briccola 「航路標識」【D『都市 1-15』】

フリット fritto 「揚げ物」【D『都市 1-28』; A『都市 31-29』; A『都市 37-28』】

フリット・ミスト・ディ・マーレ fritto misto di mare 「海産物のミックス揚げ物」【D『都市 1-28』】

プリマヴェーラ primavera 「春」【A『都市 27-7』】

ブルスケッタ bruschetta 「田舎風パンのガーリック・トースト」【A『都市 37-28』】

プルチネッラ pulcinella 「仮面劇や人形劇の道化役」【D『遺産 21-34』】

フレスコ fresco 「新鮮な」【D『遺産 14-24』】

プレゼピオ presepio 「キリスト降誕の場を人形で表現した模型」【D『遺産 21-34』; D『都市 37-13』】

プロシュート prosciutto 「ハム」【A『都市 36-22』】

プント・イン・アーリア punto in aria 「空中編み」【A『遺産 2-27』】

ペスカ pesca 「漁」【A『都市 40-19』】

ペスカトゥリズモ pescaturismo 「漁をする観光」【D『都市 40-18』】

ボスコ bosco 「森」【A『都市 36-21』】

ボッタルガ bottarga 「からすみ」【D『都市 40-28』】

ポDESTA podestà 「行政長官」【B『都市 27-31』】

ポルタ・フェリーチェ porta felice 「幸せの門」【A『都市 40-22』】

ポルターレ portale 「正面入口, 扉口」【D『都市 31-12』; A『都市 39-9』】

ポルティコ portico 「柱廊」【B『都市 29-22』; A『都市 29-26』; A『都市 33-4』; A『都市 33-18』; A『都市 33-26』; A『都市 33-30』; A『都市 35-30』; A『都市 36-30』】

ポンテ・ストルト ponte storto 「ねじれた形の橋」【A『都市 1-12』】

マエスタ maestà 「荘厳の聖母」【A『都市 36-7』; A『都市 36-8』; A『都市 36-26』; A『都市 36-27』】

マエストロ maestro 「親方」【A『都市 1-20』】

マッジョーレ maggiore 「より大きな」【A『遺産 5-22』】
 マール・グランデ mar grande 「大海」【A『都市 39-30』】
 マンジャグアダーニ mangiaguadagni 「浪費家」【B『遺産 14-10』; A『都市 36-6』】
 マンマ mamma 「お母さん」【A『都市 37-28』】
 ミトラ mitra 「司教冠」【B『遺産 5-31』】
 ミネストラ minestra 「野菜スープ」【A『都市 27-23』; A『都市 31-29』; A『都市 36-22』】
 ミラネーゼ milanese 「ミラノっ子」【A『都市 29-10』】
 メルカート mercato 「市場」【C『都市 4-10』; A『都市 33-31』; A『都市 37-28』; A『都市 37-29』; A『都市 39-29』】
 メレンダ merenda 「おやつ」【A『都市 36-13』】
 モストラ mostra 「展覧会」【A『都市 4-29』】
 モトリーノ motorino 「ミニバイク」【A『都市 31-2』】
 ラグーラ ragu 「ミートソース」【A『都市 33-11』】
 ラグーナ laguna 「潟」【C『遺産 2-2』; A『都市 1-6』; A『都市 39-10』】
 リゼルヴァ riserva 「長く寝かせたワイン」【D『都市 36-15』】
 リソルジメント risorgimento 【B『遺産 45-12』; A『都市 4-7』; A『都市 4-12』】
 リボリータ ribollita 「何度も鍋を温め直す大量煮込み料理」【D『都市 36-22』】
 リモンチェロ limoncello 「レモンのリキュール」【A『都市 31-31』】
 ルーパ・セネーゼ lupa senese 「シエナの狼」【A『都市 36-4』】
 レプブリカ repubblica 「共和国」【A『遺産 8-20』】
 ロッカ・マッジョーレ rocca maggiore 「大城塞」【A『都市 38-15』】
 ロッジア loggia 「回廊」【A『都市 38-30』】
 ロッソ rosso 「赤」【A『都市 31-28』】

§3 データの分析

以上の用例総数は 264 であったが、異なり語数は 182 であった。ここで、これらを幾つかの視点から分析してみよう。

① どのような品詞が含まれているか？

当然のことながら、名詞（または、名詞句）が最も多く 170 例、次いで形容詞が 11 例、動詞が 1 例であった。形容詞 11 例の内訳はアマービレ、アンジェリコ、ヴェッキオ、ガイア（女性形）、セッコ、セミフレッド、タント、ヌオヴォ、フレスコ、マッジョーレ、ロッソ。動詞 1 例はスパッカである。

② 片仮名イタリア語のタイプ 4 種の使用頻度は如何であったか？

圧倒的に多いのが A 型で 151 例、次に多いのが D 型で 56 例、その次が B 型で 47 例、最も少なかったのが C 型で 10 例であった。単語によって現われる型に傾向があるのか

どうかは分からないが、たとえばドゥオモは、A型・B型・C型・D型のいずれでも現われている。

③名詞（または名詞句）170例の場合、単数・複数の区別はどうなっているか？

ほとんどの場合、単数形で取り入れられているが、複数形も13例見られる。その内訳は、アンティパスティ・ミスティ、ウッフィツィ、エトルスキ、エルベ、カタコンベ、カルチェリ、カルチョーフィ、コマチーニ、コンソリ、セコラーリ、トゥルッリ、ビーゴリ、ブカティーニ。

④名詞（または名詞句）170例の場合、接尾辞の付いたものはないか？

ほとんどの場合、接尾辞の付いていない語形が取り入れられているが、縮小接尾辞が付いている語形が5例、軽蔑接尾辞が付いている語形が1例存在する。前者の内訳はギルランディーナ、テンピエット、パラツェット、ピアツェッタ、モトリーノ、後者の内訳はバルカッチャである。

⑤三省堂編集所編『コンサイス・カタカナ語辞典』1994に見出し語として既に収録済みの単語がどの程度あるか？そして、上掲辞典に記述されている意味（「旧意味」と略称）と、今回採集した片仮名イタリア語の意味（「新意味」と略称）との間にギャップが生じていないか？

上掲辞典に見出し語として既に収録済みの単語（網掛けで表示）は26例であった。これは見出し語全体（182例）の約14.3%に相当する。そして、意味変化の生じている用例は以下の5例である。これは旧意味が新意味に変化したのではなく、旧意味に新意味が新たに加わったものと解釈すべきである。

アマービレ【旧意味】愛らしく（演奏せよ）、【新意味】（ワインが）中甘口の
コルネット【旧意味】金管楽器の一種、【新意味】クロワッサン（三日月パン）

セッコ【旧意味】壁画技法の一種、【新意味】（ワインが）辛口の

チンクエチェント【旧意味】ヨーロッパ芸術における16世紀風様式、【新意味】排気量
500ccの大衆車

ドルチェ【旧意味】優しく甘美に（演奏せよ）、【新意味】デザート

§4 まとめ

最後に、「借用語予備軍」としての、現代日本語における片仮名イタリア語の特色を簡単にまとめておくことにしよう。

①品詞としては名詞（名詞句）が多いが、形容詞や動詞も若干見られること。

②出現形式としては、「片仮名イタリア語の後ろに日本語訳が付くもの」が断然多く、次に「片仮名イタリア語の後ろに日本語の簡単な解説が付くもの」と「日本語の後ろに片仮名イタリア語が付くもの」が多く、「日本語に片仮名イタリア語がルビとして付くもの」も若干見られること。

- ③片仮名イタリア語が名詞の場合、複数形のものや接尾辞の付加された形のものも若干見られること。
- ④既に『カタカナ語辞典』に収録されている借用語でも、「借用語予備軍」としての扱いを受け、日本語訳や解説が付されている場合も存在すること。
- ⑤従来の「芸術（音楽、絵画）用語としての意味（たとえば、「愛らしく（演奏せよ）」）」に、新たに「食事・グルメ関連の意味（たとえば「（ワインが）中甘口の）」」が加わっている場合が若干見られること。

今回は観光客の誘致を狙ったグラビア誌を資料とした調査であったが、今後は語学留学のための単行本やサッカー関係のスポーツ誌を資料とした調査も引き続き行なっていきたいと思う。そして、何年かのちに、今回収録した「借用語予備軍」の片仮名イタリア語のうち、果たしてどれほどの語彙が市民権を得たものになっているのか、その成長振りに関する調査も今後の課題である。